



さくら

NAO Letter

N
A
O
税理士法人

編集発行人
代表社員
高井直樹

〒500-8335
岐阜市三歳町4-2-10
TEL 058(253)5411(代)
FAX 058(253)6957

4月

(卯月) APRIL

29日・昭和の日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	.	.	.	.	.	.

ワンポイント 相続土地国庫帰属制度

所有者不明土地の発生予防のため、相続又は遺贈により土地の所有権を取得した相続人が、一定要件を満たすことで土地を手放して国庫に帰属できる制度。4月27日から施行され、制度の利用に当たっては、審査手数料や土地の性質に応じて算出した10年分の土地管理費相当額の負担金の納付が必要です。

4月の税務と労務

- 国 税／3月分源泉所得税の納付 4月10日
- 国 税／2月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 5月1日
- 国 税／8月決算法人の中間申告 5月1日
- 国 税／5月、8月、11月決算法人の消費税の中間申告(年3回の場合) 5月1日
- 地方税／給与支払報告に係る給与所得者異動届の提出 4月17日
- 地方税／固定資産税(都市計画税)の第1期分の納付 市町村の条例で定める日(原則4月中)
- 地方税／土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧 4月1日～4月20日
または最初の納期限のいずれか遅い日以後の日まで
- 地方税／軽自動車税の納付 市町村の条例で定める日(原則4月中)
- 労 務／労働者死傷病報告(休業4日未満:1月～3月分) 5月1日

日本の金融が、近年、さまざまな面で激動とも言えるほどの変貌を遂げているからでしょう。金融について、ここでは金融市場に焦点を当て、その全体像を説明します。

まず、広義の金融市場とは金融市場の全体のことを指し、金融市場は、一言で言うとな金融取引を行う「場」です。

先程の広義というのは広い意

ここでの金融取引とは、資金供給者（貸し手、投資家）と資金調達者（借り手）の取引のことであり、金融市場は金融取引する所（場）です。

金融取引は特定の建物で行われたものではなく、取引総体、つまり、通信回路を使つてのやり取りとか、電話、対面等で行われる取引を総合して金融市場というのです。

では、報道でロンドン市場、香港市場等、各都市の名を付けている市場、例えば、「東京市場」と言えば、東京証券取引所で行われた取引を指しているかというところではありません。同取引所の界隈の兜町の証券会社を含めて東京では相当多くの取引が行われています。

金融市場で行われる金融取引は、大きく分けると二形態があります。

(1) 相対(あいたい)取引
相対取引は1対1の取引で

```

graph LR
    A[金融市場  
広義・金融市場] --> B[相対取引  
・銀行貸出  
・銀行預金  
・企業間金融  
他]
    A --> C[市場取引  
狭義・金融市場]
    C --> D[短期金融市場  
1年以内]
    C --> E[長期金融市場  
(資本市場)  
1年超]
    C --> F[外国為替市場]
    C --> G[金融派生商品市場]
    D --> H[インターバンク市場]
    D --> I[オープン市場]
    E --> J[債券市場  
・国債市場  
・社債市場  
他]
    E --> K[株式市場]
  
```

す。相対取引の代表的な銀行取引は、銀行が企業に融資を行う場合で、銀行と企業は契約（１対１の取引契約）を結びます。他にも、企業と企業が資金を融通し合う場合（企業間信用）や個人対個人の貸し借りが相対取引にあたります。

市場取引は市場を通じて多くの貸し手、多くの借り手（N対Nの取引）がやりとります。

この市場取引は狭義の金融市場といいますが、通常、お金を必要とする企業が債券や株式を発行し市場で貸し手とやり取りをしますが、その間には誰も入らず直接金融になります。

なお、先述の銀行と企業の取引は間接金融といえます。預金者からお金を預かった銀行が企業へ融資する取引形態であるからです。

金融市場を考えるには、欠か
せない概念があるので説明しま
す。

(1) リターン
リターンとは貸し手が金融資

産から得る利益のことです。

先述の間接金融の場合、銀行は預金者の資金を元手として企業に融資を行っていますので、預金者は貸し出しを行っているとなしします。そして、利子を得ます(インカムゲイン)。

一方、直接金融の場合は、インカムゲインとキャピタルゲインのリターンが考えられます。インカムゲインは、株式取得者は配当、債券の場合は利子です。

では、株式・債券ともキャピタルゲインが考えられるということですが、株式・債券ともに自由に市場で売り買いでき、また値動きがあります。

買ったときよりも売りたいと思つて売ったときに差益が得られることがあります。いわば、値動きに伴う差益がキャピタルゲインです。ゲインと言いますが、プラスばかりではなくマイナスもあるので注意が必要です。

(2) リスク

一般的にリスクはリターンとペアで説明されます。

金融の前提として、通常、貸し手は、リターンが同じであれ

ばリスクの低い方を好みます。

このことは、とりもなおさずリスクが高まればリターンも高くなるはず、ということなのです。

ローリスクでローリターンの運用か、ハイリスクでハイリターンの運用かは好みによるでしょう。

一般的に言えることは、お金に余裕がある人はリスクを取る傾向にあります(データで分析したのがフランスの経済学者・ピケティ)。

(3) 情報の非対称性

情報の非対称性とは、経済取引において、取引当事者(買い手と売り手)の各々が持つ情報に格差がある状態を言います。

通常、買い手は商品の品質などの情報を詳しく把握していない一方、売り手は詳細を知っているのが一般的です。中古車市場を考えると理解できるのではないかと思います。

では、非対称性の視点から金融市場の整理をします。

Ⅰ 相対取引

情報の非対称性が強いので借り手に向く取引形態と言えます。貸し手は審査や貸し出

し後のフォローの必要性が高くなります。

つまり、借り手は貸し手(多くの場合、銀行)が納得すれば取引ができます。

Ⅱ 市場取引

情報の非対称性が弱い借り手に市場取引は向きます。というの審査や貸し出し後のモニタリングの必要性が弱いからです。

しかし、こうした取引には借り手は「格付け」が必要であり、多くの情報を発信する必要があります。

この取引は、借り手は有価証券を発行して市場経由で幅広い貸し手から資金調達を行いますし、貸し手は証券の転売が可能です。

市場取引を行うことができるということ、結論から言えば、相対取引をやりとすればできる、つまり、どちらの取引もできることになりま

Ⅳ 狭義の金融市場の機能

狭義の金融市場を作るには大きな費用が掛かりますが、取引

相手の検索や条件交渉の労力を著しく削減するメリットがあります。

また、取引費用削減と並んで市場には価格発見機能があります。様々な情報を持つ貸し手が参加し、その情報が価格に反映されます。

さて、価格形成ですが、市場の価格は割引現在価値で計算されます。

例えば、利子率10%とすると、現在の

1000円と1年後の

1100円は等しい。

1000 + 100 = 1100

× 0.1 = 1100

1年後の1100円

の評価は「1 + 利子率」で割った値が割引現在価値となります。

前記の式ですが分子は1より

大きいので現在価値は将来価値より値が小さくなります。

市場ではいろいろな金融商品があり、何らかの理由で価格差が生じ、この価格差を利用し(価格の裁定)利益を上げることが市場では行われています。

$$\frac{1100}{1+0.1} = \frac{1100}{1.1} = 1000$$

各国の通貨名

日本では「円」が使われていますし、アメリカでは「ドル」、中国では「人民元」、韓国では「ウォン」、タイでは「バーツ」とそれぞれ、各国は法貨(法律で定められた通貨)により経済活動を行っています。

また、ヨーロッパでは共通通貨の「ユーロ」が使われています。

TVでもよく出てくる通貨、ここでは「ドル、ポンド、円」について、どうしてこのような名称になったか、その由来について簡単に触れてみましょう。

まず、「ドル」という名称はヨーロッパの最初の通貨名であるターラーに由来します。

植民地時代のアメリカでは南北アメリカで流通していたスペインドルが使われていました。1792年に貨幣法が制定されてドルが通貨単位となり、19世紀にはドルの記号として“\$”が使われるようになりました。これはスペインの頭文字Sに地中海

の入口であるジブラルタル海峡にある左右の峡谷を示す2本の棒を組み合わせたものだと言われています(その他の説もありますが)。

イギリスの「ポンド」は重量単位がそのまま貨幣単位になったものです。古代ローマの度量単位であるラテン語「libra」がポンドに相当します。重量のポンドをlb(1lb=約454g)と書きます。記号は、Lの文字を表す£がポンドを示します。

日本の「円」は、明治初期に大隈重信が中心になって近代貨幣制度を作ったときに、それまでの「両」を代表する単位から改められました。

新しい貨幣を造るために輸入された香港造幣局の機械がすでに「香港一元」、「半円」などと刻印された貨幣を鋳造していた事実もあり、更に、貨幣の形状を外国に倣って円形にしたことから通称名を円にしたとも言われています(その他にも円の語源についてはいろいろ説があります)。

涙の効果

家族等が亡くなった直後は、葬儀社や親戚の打合せ等に必死で、遺体が葬儀場に送られて姿が見えなくなった途端に大粒の涙が頬を伝わり涙が出続ける。しかし、その後は冷静に家族の者と話をしている。

このような場合、多分、最初は頭の中では家族等が亡くなった事実だけに捉われ、脳が硬直し機能しなくなっていたものが、涙を流すことによって脳の状態がリセットされたのだとも考えられます。

人が涙を流すのは悲しい時、幸福の絶頂期、感動したり共感した時、等々です。

涙が脳のストレスを減らす働きに着目し、最近ではそれを「涙活」として受け入れようとする人もいます。

中小企業経営者の方は、辛いこと、怒ること、感情的な感覚がほとばしることがしばしば起こります。涙を流すことは安直な解決であると決めつけず、思い切って涙を流すことの効果を考えてください。

商店街活性化

商店街の活性化を助言しているK氏。K氏の活性化策とは、
—商店街という地域が豊かであるかどうかは、その地域内でお金がどれだけ循環しているかどうかでわかります。
商店街には米屋さん、八百屋さん、魚屋さん、パン屋さん、文具店、クリーニング店、コンビニ店等いろいろです。
よく買い物をする店といつて

も業種や扱う商品・サービスによって頻度には差があります。そこで、お客様はよく行くなじみの店を持っていますが、更に、もう一つ、二つ、三つとなじみの店を増やすことになれば、その地域でのお金が徐々に増えていきます。一方、商店も地域の方々から支持されるよう、更なる努力が必要です。—
このようにして、地域のコミュニティが形成されることが地域の活性化だと言えます。